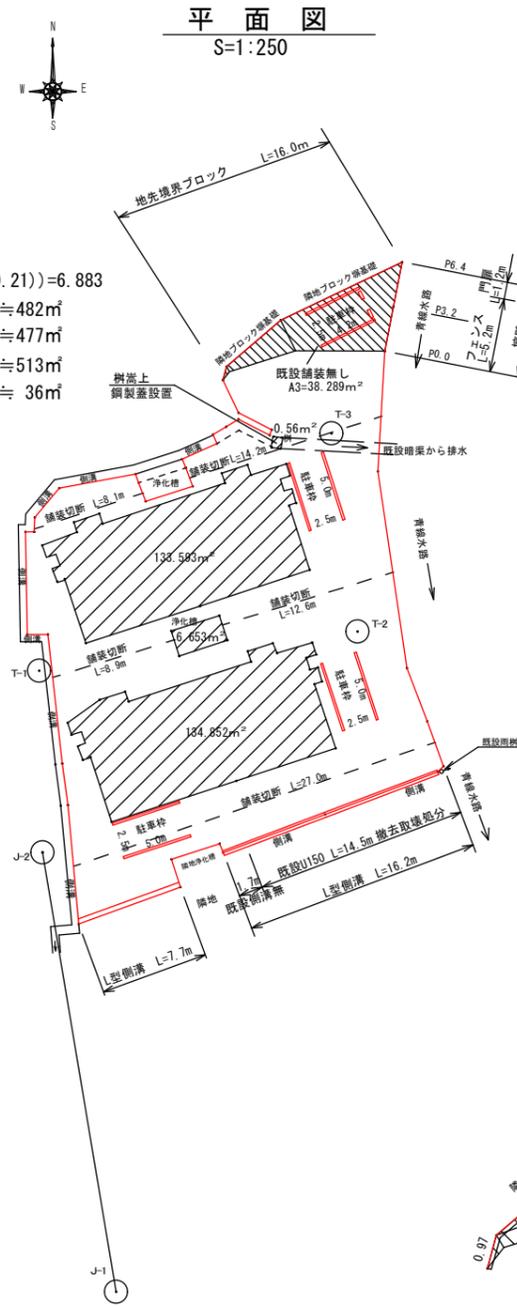




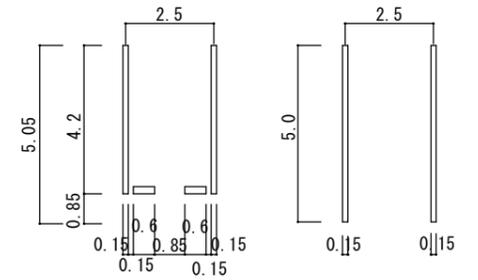
A1=795.73m² (舗装範囲外積面積) CAD測定
 A2=133.593+134.852+6.653+0.56=275.658 (舗装対象外面積)
 A3=38.29m² (舗装剥ぎ取り対象外・未舗装箇所)
 A4(地先・L型側溝分)=(16×0.12)+(7.7×0.35)+(16.2×(0.35-0.21))=6.883
 ①=795.73-275.658-38.29=481.782 (舗装剥ぎ取り面積) ≒482m²
 ②=481.782-2.695-2.268=476.819 (不陸整正面積) ≒477m²
 ③=476.819+(38.29-(16×0.12))=513.189 (舗装面積) ≒513m²
 ④=38.29-(16×0.12)=36.37 (路盤工) ≒36m²

舗装切断 8.1+14.2+8.9+12.6+27=70.8 ≒71m

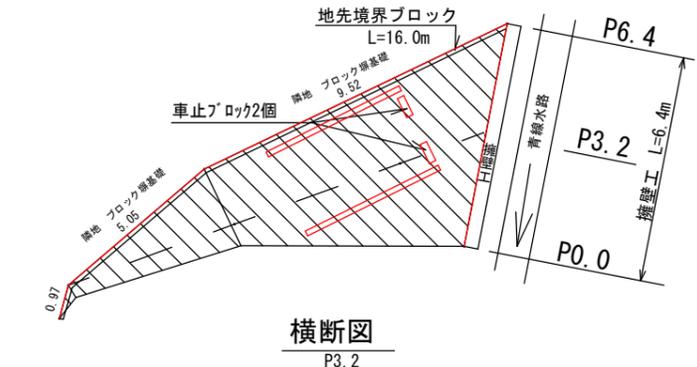


駐車枠 詳細図
S=1/100

※車止めブロックは、北端の駐車枠のみ



既設舗装無部分
拡大図
S=1/100



数量計算表

工種	名称	規格	数量計算	数量	単位
土工	床掘	1.4×6.4=8.96		9	m ³
	掘削	(0+2.4)÷2×3.2+(2.4+0)÷2×3.2=7.68		8	m ³
	埋戻し	0.9×6.4=5.76		6	m ³
	残土・処分	8.96+7.68-(5.76÷0.9)=10.24		10	m ³
	埋戻し	(0+3.2)÷2×3.2+(3.2+0)÷2×3.2=10.24		10	m ³
	再生砕石	(0+3.2)÷2×3.2+(3.2+0)÷2×3.2=10.24	10.24×1.2=12.3	12	m ³
構造物取壊工	舗装版切断	8.1+14.2+8.9+12.6+27=70.8		71	m
	切断泥水	0.023×0.06×70.8=0.097704		0.1	m ³
	切断泥水処分	0.097704×1.4=0.136786		0.1	t
	舗装版破砕積込	481.78		480	m ²
	搬運搬	481.78×0.06=28.91		29	m ³
	処分料	481.78×0.06=28.91		29	m ³
	構造物取壊	U150 0.017×14.5=0.2465	樹上 0.036 合計0.2825	0.3	m ³
	搬運搬	同上		0.3	m ³
	処分	同上		0.3	m ³
	舗装工	不陸整正	476.82		477
路盤工		36.37		36	m ²
表層		513.19		513	m ²
区画線設置		(5×6)+(4.2×2)=38.4		38	m
排水工	L型側溝設置	L=600	16.2+7.7=23.9	24	m
	樹上工			1	箇所
附帯工	擁壁工			4	m ³
	金網フェンス設置	H=1200 網目125mm×50mm		5	m
	片開き門扉	H=1200 W=1200 網目125mm×50mm		1	組
	地先境界ブロック	120×120×600		16	m
	目地板設置	遮青繊維質目地板t=10mm (0.97+5.05+9.52)×0.12=1.86		2	m ²
	車止めブロック設置	600×160×100		2	個
準備費	支障木枝打ち・高切り・集積・積込			1	式
	伐採木・土のう袋等運搬			3	台
	処分費	木くず換算 0.55t/m ³		5	m ³

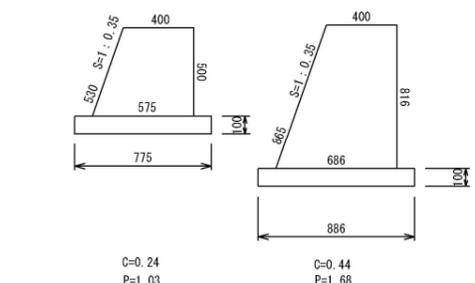
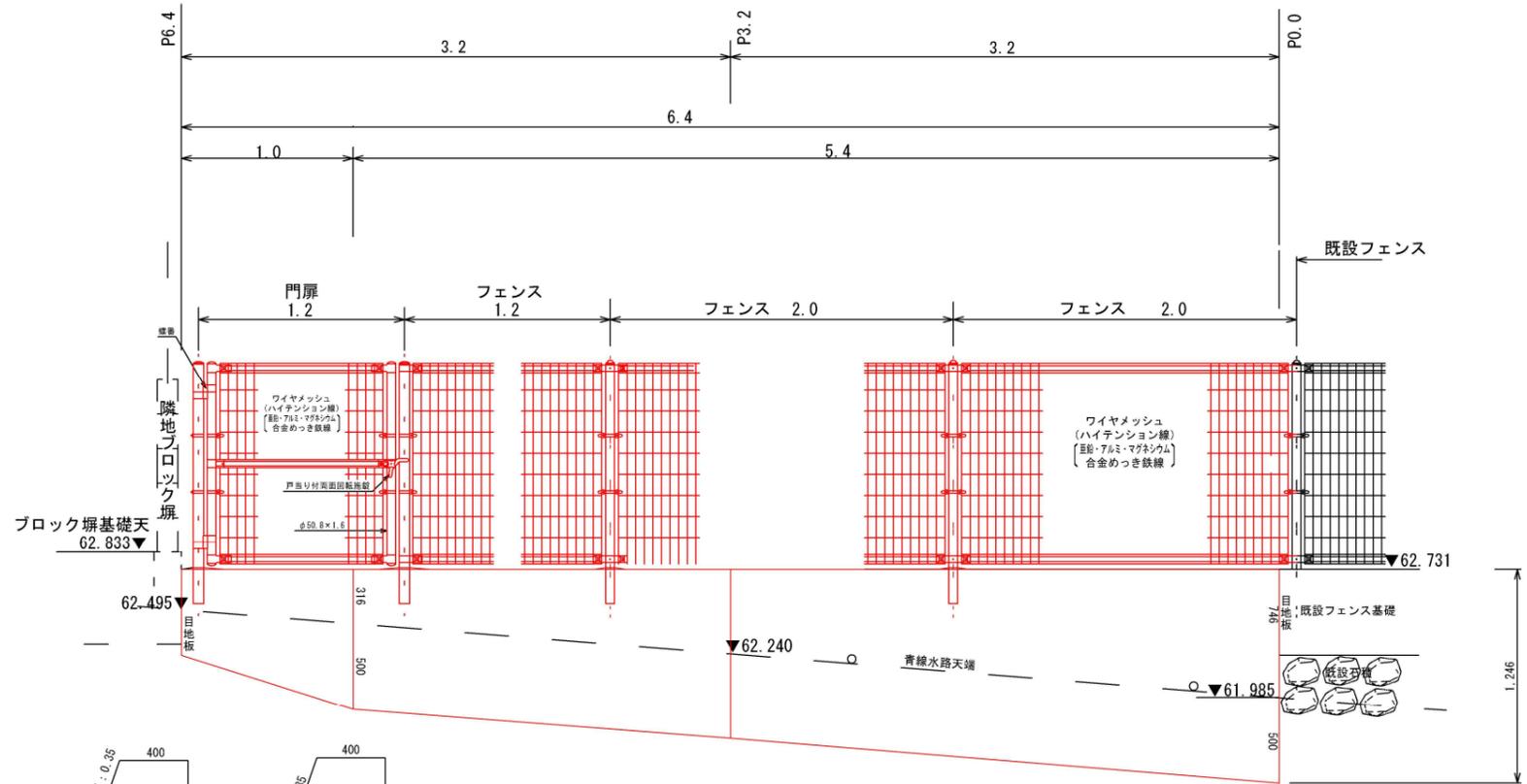
世界測地系

点名	X座標	Y座標	距離	角度	備考
J-2	66872.253	-2722.321			
J-1	66841.154	-2717.112	31.532	170° 29' 29"	機械点 J-2よりJ-1視準
T-1	66885.108	-2722.567	12.857	358° 54' 20"	機械点 J-2よりT-1視準
T-2	66887.886	-2700.026	22.711	82° 58' 30"	機械点 T-1よりT-2視準
T-3	66901.881	-2701.876	14.117	352° 28' 05"	機械点 T-2よりT-3視準

床掘=1.4
掘削=2.4
埋戻=0.9
砕石埋戻=3.2

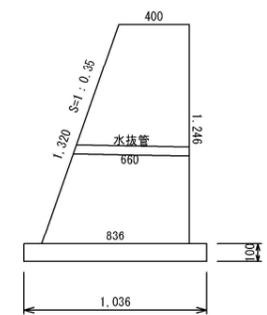
工事名	中山間地域活性化住宅舗装工事			
種別	位置図・平面図・横断面	数量計算・駐車枠詳細図	3葉中1番	
工事箇所	高知市鏡今井	課長	課長補佐	係長 設計
縮尺	図示			
施工年度	令和7年度			
高知市都市建設部河川水路課				

擁壁工・フェンス・門扉 S=1:20
擁壁構造図・展開図



C=0.24
P=1.03
C= (0.44+0.24) ÷ 2 × 1.0=0.34
P= (1.68+1.03) ÷ 2 × 1.0=1.355

C= (0.77+0.44) ÷ 2 × 5.4=3.267
P= (2.57+1.68) ÷ 2 × 5.4=11.475

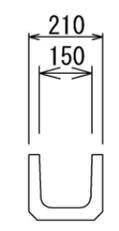


C=0.77
P=2.57

擁壁工数量

コンクリート C= 3.267+0.34=3.607 ≒ 4m³
 型枠 P= 11.475+1.355=12.83 ≒ 13m²
 目地= 0.27+0.77=1.04 ≒ 1m²
 水抜管= 0.66×2箇所=1.32m ≒ 1m
 透水マット= 0.3m×2箇所 ≒ 0.6m
 基礎砕石= (1.036+0.886) / 2 × 5.4 + (0.886+0.775) / 2 × 1.0=6.0199 ≒ 6m³

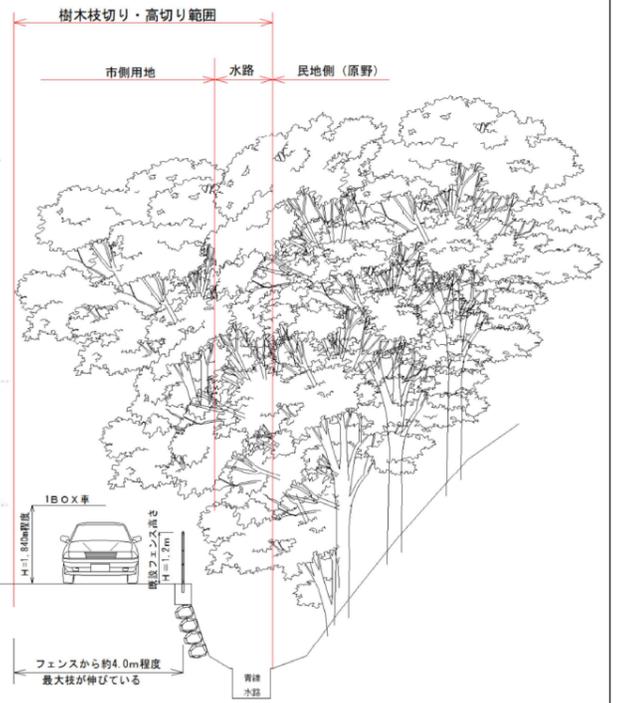
既設U150側溝
取壊処分
S=1:10



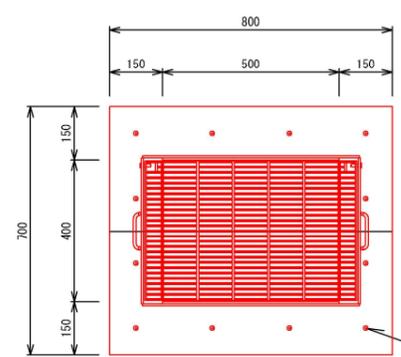
製品断面積: 0.017 m²

準備費
S=FREE

準備費
樹木枝切り・高切り作業
延長L≒36.8m (既設フェンス沿い)
高さ10m・青線水路上までの範囲を
高所作業車を使用し、樹木の枝切り・高切りを行い
切り落とした枝等を集積し、運搬トラック (4t車)
に積込・運搬・処分を行う。
青線水路付近の、市住用地からの雨水排水管 (塩ビ管) や
街灯等の設備・上空架線を損傷しないよう配慮すること。



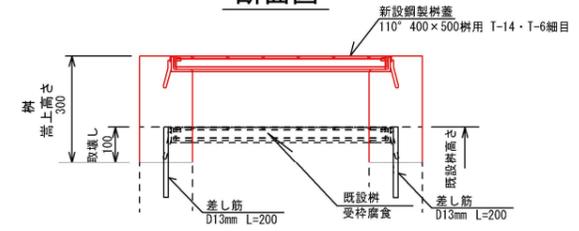
柵嵩上工
S=1:10
平面図



柵嵩上 1.0箇所

コンクリート= ((0.8×0.7)-(0.5×0.4)) × 0.3=0.108
 型枠= ((0.8+0.7) × 2) × 0.3 + ((0.4+0.5) × 2) × 0.3=1.44
 削孔= 12孔 L=100mm
 鉄筋= D13 L=200mm (0.995 × 12 × 0.2) / 1000=0.0024t
 取壊し= ((0.8×0.7)-(0.5×0.4)) × 0.1=0.036 ※柵物取壊工計上

断面図



工事名	中山間地域活性化住宅舗装工事			
種別	擁壁展開図・柵嵩上工・U170取壊	3	葉中2番	
工事箇所	高知市鏡今井	課長	課長補佐	係長
縮尺	図示			設計
施工年度	令和7年度			
高知市都市建設部河川水路課				

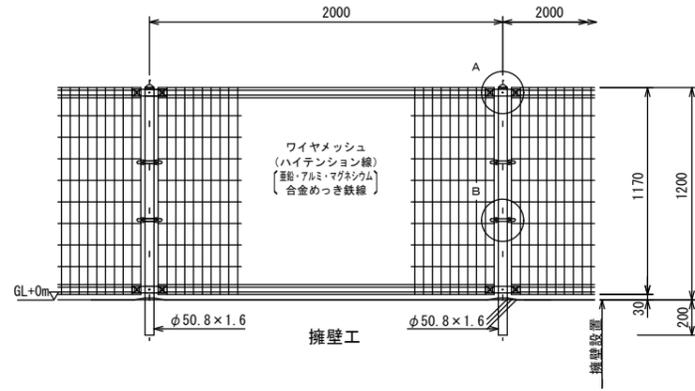
構造図

メッシュフェンス

S=1:20

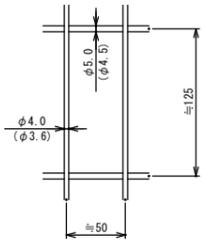
UN-A1200S-50

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



ワイヤメッシュ図

() 内は芯径を示す。



パネル断面図

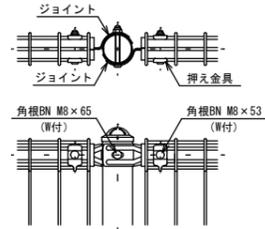


設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98 kN/m² (10 t/m²)

- 備考
- 1. 外装について
 - ・支柱、ジョイント、挿え金具、ワイヤメッシュ・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 - ・バンド・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 - ・U型金具・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
 - ・ボルト、ナット・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

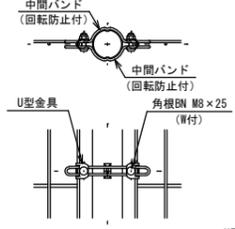
A部取付図

S=1:6



B部取付図

S=1:6



標準的な取付図

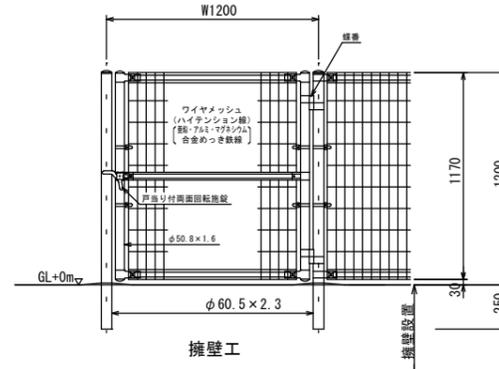
パネルと柱のすきまが
せまい場合の取付図

片開き門扉

S=1:20

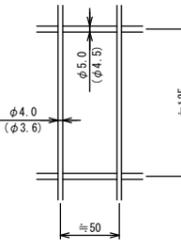
H1200-50×W1200

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

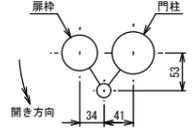


ワイヤメッシュ図

() 内は芯径を示す。



門柱・扉枠位置関係図



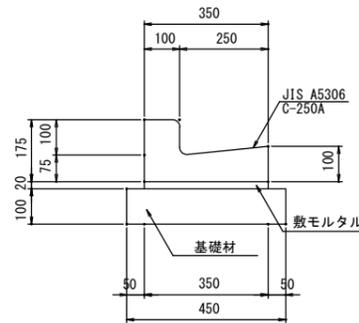
設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98 kN/m² (10 t/m²)

- 備考
1. 外装について
 - ・門柱、枠体、ジョイント、挿え金具、ワイヤメッシュ・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 - ・バンド・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 - ・U型金具・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
 - ・ボルト、ナット・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
 - ・戸当り付両面回転施設・・・溶融亜鉛めっきのみ
 2. 本図門扉は片側180°開きとする。

△注意
施設門柱の片開き側に障害物(兼用フェンス、壁など)を有する場合には、両面回転施設の戸当りが障害物と干渉するため、開き方向の変更が必要である。

L型ブロック

S=1:10

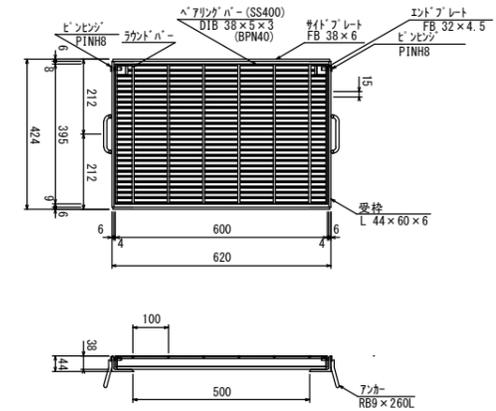


材 料 表 (10m 当り)				摘 要
基礎材 (m ³)	側溝 (個)	敷モルタル (m ³)	目地モルタル (m ³)	JIS A5306 C-250A
0.450	16.5	0.070	0.003	

※プレキャスト無筋コンクリート

鋼製グレーティング樹蓋

S=1:20



(新設部) 舗装構成図

S=1:10

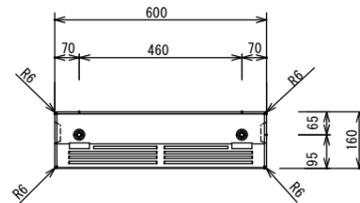
アスファルト舗装



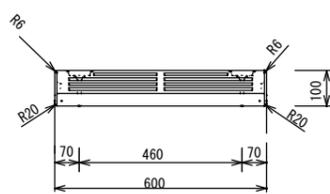
車止めブロック

S=1:10

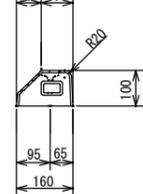
平面図



正面図

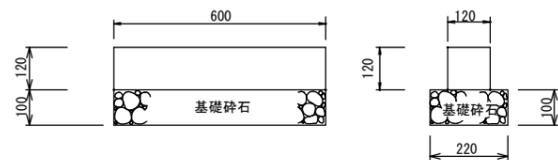


断面図



地先境界ブロック

S=1:10



地先境界ブロック		10m 当り
地先境界ブロックA型	120×120×600	16.5 個
砕石基礎	RC-40	2.2 m ²

工事名	中山間地域活性化住宅舗装工事				
種別	構造図	3 葉中 3 番			
工事箇所	高知市鏡今井	課長	課長補佐	係長	設計
縮尺	図示				
施工年度	令和7年度				
高知市都市建設部河川水路課					